

あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.155 2008.3.1



最優秀賞受賞者

今年も生まれました歌人の卵たち
短歌って楽しいよ!!



会田中学校
三輪 恒希

本通の口ばかした翌日の
友達から送られた短歌



島立小学校
三上 知恵

水曜日わたしの好きな曜日だ
遊ぶやうな日だ



松島中学校
樋口 千恵

冷たい手つなげばみんな
あなたから降る雪全部



芝沢小学校
久保田 諒

朝の光る太陽が
しばふを走る

松本の子どもの短歌 2007 作品展

【会期】3月20日(木)～4月13日(日) 月曜日休館
【時間】午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
【会場】窪田空穂記念館会議室 ※作品展のみ入場無料

今回で5回目となった「松本の子どもの短歌」には54校4836人の子どもたちが短歌を寄せてくれました。大人なら見過したり、感じなかったりすることがらが読み込まれハッとさせられます。入賞者や空穂会賞受賞者の作品273首を紹介しつゝ。春休みにご家族そろってお出かけ下さい。

もくじ

- 誌上博物館 ◇ 松本高等学校の植栽
～ヒマラヤ杉が植えられた頃～ 2-3
- 博物館のノートから ◇ 博物館のサポーター達2 4
- ガイドコーナーはてんぼく 4



松本高等学校の植栽

～ヒマラヤ杉が植えられた頃～

1 はじめに

あがたの森公園に鬱蒼と生い茂るヒマラヤ杉の大木は、大正ロマン薫る木造校舎に格別の風致を添え、美しい景観を造り出しています。

ヒマラヤ杉がはじめてこの地に植えられたのは、旧制松本高等学校(以後、松本高校という)時代、今から遡ること80年ほど前のことです。当時の構内には様々な植物が植栽され、緑豊かな環境が整備されていました。

そこで、ヒマラヤ杉が植えられた松本高校時代の植栽について当時の支出記録から覗いてみたいと思います。



講堂とヒマラヤ杉(昭和12年頃)

◆ 旧制松本高等学校の概略

旧制松本高等学校は、現在の史跡松本城の二の丸にあった松本中学校(現：松本深志高等学校)を仮校舎として大正8年に開校し、大正9年に本館と思誠寮の完成とともに県の地へと移転しました。その後、戦後の学制改革により旧制高等学校が廃止となる昭和25年までの31年間に約5,000人の卒業生を送り出しています。

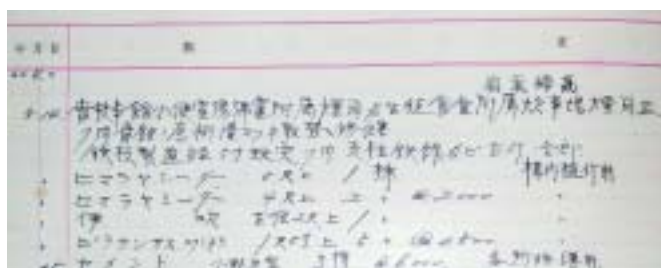
2 松高時代の植栽植物

支出記録(大正11年度から昭和23年度まで。ただし、大正8、9、10、12年度、昭和24年度分を除く)によると、約100種類にも及ぶ植物が構内植付用あるいは補植用として購入されています。ヒマラヤ杉はもちろんのこと数種の桜や桧、白樺に



松本高等学校支出官支出内訳簿

銀杏、エンジュ、欒、枝垂柳などの樹木の他、野薔薇やダリヤ、ポピー、百合、海芋(カラー)などの花の種や



昭和4年度ヒマラヤ杉購入記録

球根も多数購入されており、色鮮やかに構内を彩っていたようです。このうち約70種類以上が昭和4年までに購入されていることやその後構内植付用としての記録がしばらくなかったことから、この頃までに構内の植栽がほぼ終了したといえそうです。

昭和8年以降、生垣用の大量の一位の苗と補植用の柏や銀杏、白樺が多数購入されています。今も校舎中庭に残っている梧桐2本はこのとき購入されたものと思われます。また、昭和14年に野薔薇と桎が囲障用として、昭和16年に桜の苗木が構内植付用として多数購入されたのを最後に、植物の購入記録は確認することはできませんでした。これは戦時体制の強まりなど当時の状況を反映しているものと思われます。



中庭に集う松高生(昭和初期)



松商学園から見た松高(昭和17年)



校庭に寝転ぶ(昭和9年)

3 シンボルヒマラヤ杉

「ヒマラヤ杉」あるいは「ヒマラヤシーダー」と明記されているものは、大正14年7月の購入を筆頭に昭和11年までに64本、「杉」と記されているものが大正11年5月と同14年1月にあわせて71本あり、合計で135本となります。購入時期をみるとそのほとんどが第2代大渡忠太郎校長(大正10年10月～昭和2年8月)時代に購入されており、残りは彼の退任後、第3代森巻吉、第5代西川順之両校長の時代に購入されています。

「杉」とある71本をヒマラヤ杉に含めた理由



大正後期の並木道

ですが、第5回卒業生(大正15年3月)の卒業アルバムに残されている写真の中に植樹されたヒマラヤ杉が確認でき、大正15年3月までに購入された「ヒマラヤ杉」がわずか15本であることや写真にあるヒマラヤ杉と思われる木が15本以上みてとれることなどから「杉」をヒマラヤ杉とみなしました。しかしこの点については、さらに調査が必要と思われます。

さて、購入記録にあるヒマラヤ杉の大きさは2尺(約60cm)～10尺(約300cm)、このうち最も大きい10尺のヒマラヤ杉の単価は17円とあります。購入したのは大正14年で当時の小使(用務員)1カ月分の給料15円よりも高かったため、ヒマラヤ杉が1本枯れると大騒ぎだったそうです。

4 最大の功労者 第2代大渡忠太郎校長

現在も残るヒマラヤ杉を植樹したといわれる大渡忠太郎校長は、大正10年11月、第六高等学校(現：岡山大学)の教授から2代目校長として着任し、昭和2年8月、辞任するまでの約6年間に新設間もない松本高校の基礎づくりに尽力されました。

特に環境造成にとっても熱心で、新築されたばかりの校舎と思誠寮、緑といえば「縣の森」ぐらいしかない殺風景な構内に博物学専門であったためかヒマラヤ杉や桜など多くの

植物を植栽し、さらには池や鳩舎、温室などを整備しました。松本高校構内の植物のほとんどが大渡校長によって植栽されたものといわれ、大渡校長時代に購入された植物の種類や数、金額の多さがそれを裏付けています。

卒業生は、そんな大渡校長を「人びとを包み込む緑陰、柔らかなクローバーのしとねなど、幾何学的でない自然流の造園計画は大渡校長の功績である」と称えています。



池の周りでご飯を食らう(昭和初期)



温室での植物観察(昭和13、14年頃)



中庭の造形美(昭和初期)

5 松本高校生の心に残る風景

当時の様子を伝えてくれている松本高校の卒業生の文章を紹介します。

「松高校内の最も目に付くのは校門から入ると直ぐに校舎の横にヒマラヤ杉の並木だ。昔はそれは実にスマートな枝振りが清新な如何にも此のアルプス山麓の学園にふさわしい緑の素晴らしい木立で四季を通じて学園に新鮮な雰囲気をかもし出していた。その若々しいヒマラヤ杉は校庭の中で冬の雪景色の最も美しい印象的なものであった。(中略) 寒い冬が去り、春が来り、桜の季節になると満開の花びらが窓から飛び入り、机の上、本の上へも散って来たものだ。休み時間になると教室から出て桜の花蔭へ座ったり寝転んだりして桜の花枝を拭いてくる春の薫風で頬をなでられながら空想したり夢を描いたものだ。初夏の庭の草花、夏のひぐらし、秋の落葉、冬のヒマラヤ杉に積れる白雪の雪景色の大自然美(後略)」



校舎南側の桜(昭和17年)

6 おわりに

大渡校長が、なぜヒマラヤ杉を選んだのか、またそこに何かしらの思いが込められていたのかは明らかではありません。そしてまた、大渡校長自身も80有余年も経ったこの地に今なお校舎・講堂とともに素晴らしい景観を残していることなど想像もしなかったのではないのでしょうか。今回、松高時代に植えられ現在も残っている木がどれほどあるのかまでは調査することができませんでしたが、ヒマラヤ杉をはじめとするそれらの木々は、美しい景観とともにこの公園の歴史を伝えるものとして大切に守っていかなくてはならない貴重な財産だと思います。

(旧制高等学校記念館 学芸担当／小澤 弥生)

参考・引用文献

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|-------------|
| 『アルペン風—旧制高等学校物語(松本高校篇)』 | 財界評論新社 | 1967年 |
| 『記念館だより 第22号』 | 旧制高等学校記念館 | 1990年 |
| 『松本高等学校同窓会会報 内報50号』 | 松本高等学校同窓会 | 1984年 |
| 『松本高等学校同窓会会報 内報53号』 | 松本高等学校同窓会 | 1985年 |
| 『覚書：わが国へのヒマラヤスギの
渡来と普及について(その1)』 | 鳴海 正泰 | 2000年 |
| 『松本高等学校支出官支出内譯簿』 | | 大正11年～昭和23年 |

博物館のサポーター達 2

里の息吹き

歴史の里へ足を運ぶようになって感じた季節の動き、いつもの冬は建物だけの静止状態に見えます。ところが今年は「たてもの野外博物館」に注目した神奈川の観光会社が、立て続けにバスツアーの予約をしてくれました。

個人やグループ、会社の慰安旅行と、趣旨は違いますが、目的は一緒です。ビデオを観て、建物や内部の説明を聞きながら館内を回ります。笑ったりおしゃべりしたりと楽しそうな話し声が響き、建物にも活気と賑わいが戻ります。私はツアーの案内をお手伝いしながら、旅の思い出作りに心を砕きます。

冬の歴史の里はひっそりとしていますが、春になると楽しみが増えてきます。製糸場からは賑やかな機械の音が響き、生糸を取る実演を見ることができます。工女宿のイロリでは薪が燃えているかも知れません。ここでは耳を澄ませて下さい。ほら、カサカサとカイコが桑の葉を食べています。姿を見ることも触ることもできます。カイコの成長も楽しみです、中庭で育てている綿や藍の花の可愛らしさにも、目が注がれます。ここには染めや織物の体験に使用する材料を、種から育てているのです。

入口周辺の遅咲きの桜には、ツアーのお客さまもきっと歓声をあげるだろうと思います。そして私の密やかな願いは、いつか木下尚江生家前のカラタチの可憐な花に、遭遇できることです。

(市民学芸員／鈴木 貴美枝)



県宝 旧長野地方裁判所松本支部庁舎 法廷で展示解説中の市民学芸員

あとかぎ

松本市市制施行100周年のイベントで忙しい1年でした。お金がない、人手がない、時間がないのナイナイ尽くしの中、頼るのは知恵と体力ですが年齢とともに衰えて、こちらも覚束ないという状態に。元気よく出たのはため息だけでした。次の100年に繋げるべく今年には地道に活動をしたいと願うものです。(E・T)

空穂記念館から

☎0263-48-3440

「松本の子どもの短歌・2007」作品展

期間 3月20日(木)～4月13日(日)

観覧料 作品展のみ無料

会場 窪田空穂記念館(会議室)

春休み窪田空穂記念館囲碁教室

期間 3月26日(木)～28日(金)

内容 [午前]入門コース [午後]実力養成コース

参加費 無料

会場 窪田空穂生家

指導 囲碁普及ボランティアグループ

申込 TEL.090-5808-0768 峯岸まで

松本市立博物館から

☎0263-32-0133

ロビー展示・月遅れの雑祭り

期間 3月26日(木)～4月6日(日)

*4月3日(木)午前10時から 甘酒サービス

松本市民芸館から

☎0263-33-1569

企画展「瀬戸・美濃のやきもの展」

期間 4月22日(火)～6月8日(日)

歴史の里から

☎0263-47-4515

裂き織り体験

期日 3月13日(木)・22日(土) 午前10時～正午・午後1時～3時

参加費 [ティッシュケースサイズ] 500円

[ペンケースサイズ] 1,000円(材料費を含む)

申込 3日前までに歴史の里へ

平成
20年度松本まるごと博物館
市民学芸員養成講座のお知らせ

平成18年度からはじめた市民学芸員講座ですが、おかげさまで好評のうちに第3期目を迎えることとなりました。平成20年度も、次の日程で全6回の講座を通じて、学芸員の視点で松本と博物館について学びます。

[1] 期日とテーマ

	期日	内容	担当施設
1	4月26日(土)	開講式・城下町を歩く	松本市立博物館
2	5月24日(土)	短歌の実作と調査	窪田空穂記念館
3	6月21日(土)	展示替え体験	旧開智学校
4	7月26日(土)	アルプス公園セミ生息調査	山と自然博物館
5	11月1日(土)	建物の見方・伝え方	歴史の里
6	2月8日(日)	正月とこと八日	松本市立博物館

[2] 定員 全日程受講可能な方・15人

[3] 参加費 保険料及び資料代として実費を徴収します。

[4] 募集について 広報まつもと3月15日号でお知らせします。

あなたと博物館 No.155

発行年月日／平成20年3月1日

編集・発行／松本市立博物館

〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133

URL: <http://www.city.matsumoto.nagano.jp>e-mail: mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp 印刷 川越印刷株式会社